

2025 年 7 月 22 日

「第 135 回九州の経営動向調査（2025 年 4～6 月期）」結果のお知らせ

西日本シティ銀行（頭取 村上 英之）は、四半期毎に当行のお取引先さまのご協力を得て、経営動向調査を実施しています。このたび、第 135 回（2025 年 4～6 月期）の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

記

1. 調査対象企業

- ・当行の主要取引先 532 社（回答企業数 266 社、回答率 50.0%）
- ・回答企業：福岡県内企業 83.8%、中小企業 79.7%

2. 調査対象期間

2025 年 4～6 月期（※前回調査：2025 年 1～3 月期）

3. 項目別 BSI※の概要（製造業、非製造業、全産業）

	景況感			売上高			収益			資金繰り			商品在庫		
	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比
製 造 業	▲ 5.4	▲ 1.5	+3.9	▲ 5.4	▲ 4.3	+1.1	▲ 4.0	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 2.7	▲ 4.3	▲ 1.6	1.3	▲ 7.2	▲ 8.5
非 製 造 業	7.8	▲ 3.0	▲ 10.8	12.6	1.5	▲ 11.1	4.2	▲ 5.6	▲ 9.8	▲ 0.6	▲ 1.0	▲ 0.4	▲ 1.5	0.5	+2.0
全 産 業	4.1	▲ 2.6	▲ 6.7	7.6	0.0	▲ 7.6	1.8	▲ 6.8	▲ 8.6	▲ 1.2	▲ 1.9	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 1.5	▲ 0.7

※BSI とは、「好転・増加・不足」（前年同期比）の企業割合から「悪化・減少・過大」の企業割合を差し引いた指標

- ・景況感は、製造業は前回比 3.9 ポイント改善、非製造業は前回比 10.8 ポイント悪化し、全産業では前回実績 4.1 から▲2.6 となり、2 四半期連続悪化した。
- ・売上高は、製造業では改善したものの、建設業、不動産業などの悪化を受けて非製造業では悪化している。収益は、製造業、非製造業ともに悪化傾向である。

4. 業種別動向

- ・製造業は、景況感、売上高は改善しているが、依然としてマイナスである。原材料費の高騰や人材不足などの要因により、収益および資金繰りは悪化している。研究開発などへの設備投資は増加している。
- ・非製造業は、人材の確保などに課題があり、景況感・売上高・収益・資金繰りの項目で悪化している。機械更新などの設備投資も減少している。

5. 経営上の問題点

- ・「従業員対策」が 57%で 4 四半期連続 1 位となり、続いて「原材料値上り」が 49%となっている。

以 上

詳しくはこちらからご覧いただけます。→ [第 135 回九州の経営動向調査](#)

本件に関するお問い合わせ先
融資統括部 右近 TEL 092-476-2781

※当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。